

九州の逸品

FILE No.1

今月号から、九州の地域ブランドをご紹介します。



「FFG食の商談会」出展産品

幻の鶏、半世紀ぶりの復活

天草大

— あまくさだいおう —

熊本にはかつて、大型の肉用鶏「天草大王」が飼育されていた。肉質の良さから、博多名物の水炊き用としても珍重された。

昭和に入り出荷が減り遂に絶滅したが、残された油絵や文獻をもとに熊本県農業研究センターが1992年からその復元を開始、交配を重ね背丈90cmの大王と呼ぶにふさわしい日本最大級の肉用地鶏が復活した。

2000年には第7世代の平均体重が5,270グラムに達し、2004年には特定JAS法により地鶏の認定をうけ、現在天草地方を中心に年間10万羽(2011年統計)が生産、東京、大阪、福岡の都市圏に出荷されている。

肉質は柔らかすぎず適度な歯ごたえがあって旨みがあり骨離れも良い、から揚げや水炊きに合う。

